

施策：教育環境の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 学校適応指導教室運営事業	現状維持	予算額	7,411 千円	
			《 8,141 》	
		財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	7,411 千円

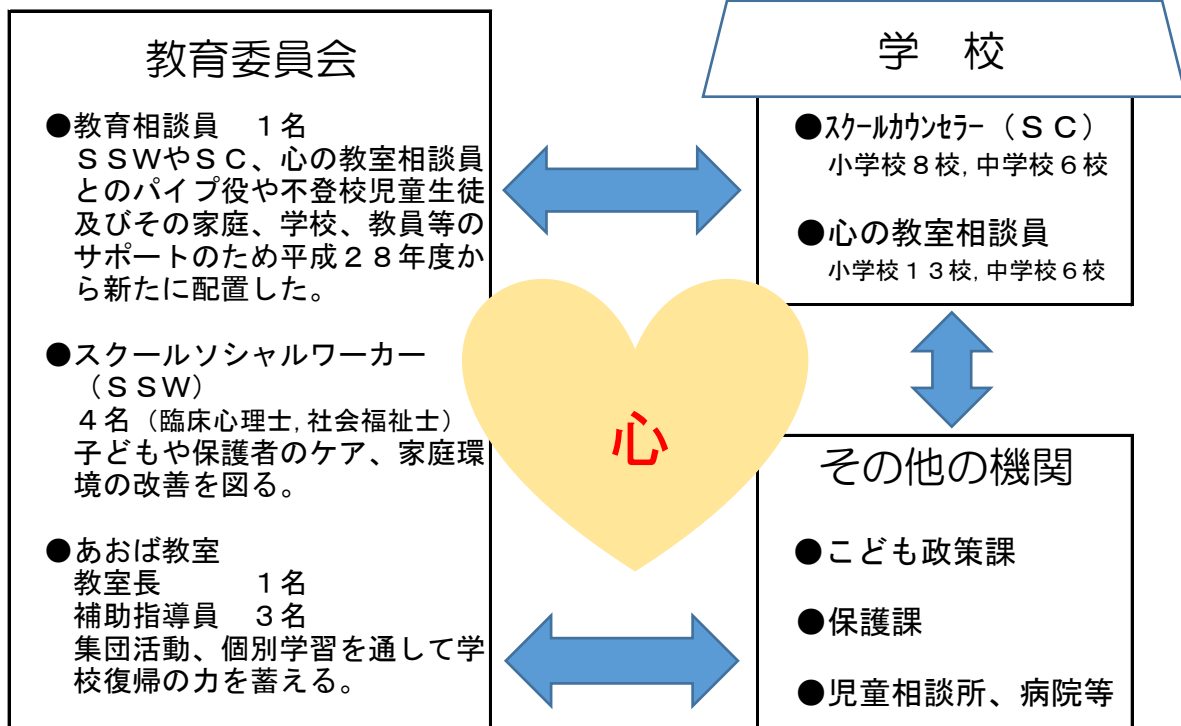
【事業の目的・概要・対象】

学校に行けない児童、生徒に集団生活や学習活動を通じて

- ①生活のリズムの確立やコミュニケーション能力など社会性を身につけさせる。
- ②最終的に、学校へ復帰できるようにする。

指導主事、相談員1名、補助指導員3名により支援プログラムを立て、集団活動や学習を指導する。学校や集団活動に適応できるよう個別に規則正しい生活を行うよう指導し、併せて社会性を育成する。

大村市 不登校対策



【背景】

平成9年に、市教育委員会社会教育課の管轄の下、開設された大村市学校適応指導教室（あおば教室）であるが、不登校対策との一層の連動を図るために、平成22年度から学校教育課へ移管された。

学校へ足を向けることのできなくなった子どもたちの中には、それでも他者と関わったり、学習を行ったりすることを望む者も多い。あおば教室はそのような子どもたちにとって適切な教育の場である。

担当課	学校教育課	問合せ先	0957-53-4111 (内線370)
-----	-------	------	----------------------

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	あおば教室通級児童生徒数	人	16	20	20	20	20
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①							
②							

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	5,827	5,609	6,270	8,141	7,411	7,411	40,669
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	23	23	22	27	27	27	149
一般財源	5,804	5,586	6,248	8,114	7,384	7,384	40,520
人件費	2,039	1,158	1,454	1,454	1,454	1,454	9,013
職員	0.25人	0.15人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	1.20人
時間外勤務	75h	50h					125h
嘱託員							0.00人
フルコスト	7,866	6,767	7,724	9,595	8,865	8,865	49,682

妥当性 (市の関与)	市内の不登校児童生徒が対象であり、小・中学校や、その他の関連機関との連携が大切なので市の関与が必要である。
有効性 (施策貢献度)	市内小・中学校及び学校教育課、こども家庭課など関係者が連携をとりつつ、臨床心理士による児童生徒の心のケアにつとめ学校復帰を目指すことは教育相談体制の充実につながる。
効率性 (コスト)	必要最低限の経費で運営しているので、これ以上の削減はできない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり